

## 就職体験談

卒業生氏名：ス サンダー ネー ミョー タン

卒業年度：2025年3月

卒業学部：中部学院大学短期大学部 社会福祉学科

私が留学をスタートする前は、日本での就職について悩んだり、考えたりすることがありました。。

私が就職について考え始めたのは、一年生の時に学校で行われたセミナーに参加したことがきっかけでした。そのセミナーでは、岐阜県内の介護施設の方々が本学に来てくださり、職場で使用している新進の介護のロボットや福祉用具、勤務形態や休日のことなどについて、詳しく説明していただきました。その話を聞きながら、「将来、自分はどうのような職場で働くのだろうか」と想像し、卒業後の進路について意識するようになりました。

さらに、短大の介護実習では、様々な施設を経験することができました。介護実習を通して、実習先の職員さんが、積極的に利用者の方々に声を掛け、コミュニケーションをとることの大切さや、多くの介護技術・知識を学ぶことができました。そして、根拠に基づいて、利用者一人ひとりの介護過程を考えることもできたと思いました。

そして、二年生の前期に入ってから、キャリア支援センターの存在を知りました。特に、留学生向けのガイダンスを通じて、卒業後に必要な書類や手続きについて詳しく説明を受けることができました。キャリア支援センターでは、就職活動に関する様々な情報を収集することができ、手続きの流れを把握しやすく、私は不安を感じることなく、準備を進めることができました。その結果、私は卒業後の就職について大きな心配をせず、スムーズに就職活動を進めることができましたと思います。

今後も、これまでの学びや経験を活かしながら、自分の目標に向かって社会の幸福に貢献できる介護福祉士になるために努力していきたいです。